

【解答例集】まだ世の中にない、未来の職業を発明しよう

CCN寺子屋 ワークシート解答例集 | invent-job

⚠ **保護者・先生向け：**このシートは参考例です。生徒自身が考えることが大切です。答えを見せるのではなく、まずお子さん・生徒さん自身に取り組ませてからご活用ください。

1 困りごとを見つけよう

モデル回答例

おじいちゃんおばあちゃんが新しい技術についていけずに困っている。

ここがポイント

「自分が感じた不便」や「家族が困っていること」から探すと、リアルな困りごとが見つかる。

2 ペルソナを作ろう

モデル回答例

名前：田中さん / 年齢：72歳 女性 / 住まい：地方の小さな町、1人暮らし

困っていること：スマホの新しい機能が次々増えて、使いこなせない

感情：時代に取り残された気がして、家族にも聞きづらい

本当の望み：自分でできるようになって、孫とビデオ通話したい

ここがポイント

ペルソナは「架空の人物」だが、できるだけリアルな人として想像して書くと、解決策が具体的になる。「本当の望み」まで書けると深い。

3 なぜ今の仕事では解決できないか

モデル回答例

携帯ショップは新規契約はしてくれるけど、毎日の使い方の悩みには対応してくれない。本当に必要なのは、ゆっくり何度でも教えてくれて、しかも気軽に呼べる人。

ここがポイント

「今あるサービスの限界」を説明できると、新しい仕事が必要な理由になる。「〇〇は△△してくれるけど、□□はしてくれない」という形で書くとわかりやすい。

4 未来の仕事に名前をつけよう

モデル回答例

仕事の名前：うちのAIサポーター

ここがポイント

名前は「何をする人か」が直感的にわかるものが良い。難しい横文字より、シンプルで伝わる日本語の方が印象に残る。

5 1日の流れを書こう

モデル回答例

午前：その日のお客さんを確認 → 1軒目の家に訪問してスマホの設定を一緒に確認
昼：記録の整理・次回の準備
午後：2軒目・3軒目の訪問
夕方：オンライン相談対応（遠方の方向け）

ここがポイント

時間軸（朝・昼・夕）に沿って書くと、仕事のリアルが見えやすくなる。移動・準備・記録なども忘れずに。

6 AIとどう共存する？

モデル回答例

AIがやること：訪問スケジュールの自動管理／よくある質問への自動回答

人間がやること：個別の不安に寄り添う感情サポート／その場での予期しないトラブルへの対応

ここがポイント

「AIと競争」ではなく「AIと分担」の発想で考えるのがポイント。AIが得意なルーティンを任せ、人間は「感情・判断・関係性」に集中する設計が理想的。

7 名刺を作ろう

モデル回答例

仕事名：うちのAIサポーター

キャッチコピー：「あなたのペースで、一緒に学ぼう」

強み：ゆっくり・何度でも・怒らない

ここがポイント

名刺の「キャッチコピー」はお客さんへのメッセージ。その仕事の一番の価値を1文で表現できると良い。